

V to Heim START GUIDE BOOK

ブイ トウ ハイム スタート・ガイドブック

三菱版

2020年3月版

V to Heimの
すべてがこの1冊に

永久保存版

使いはじめ、使いこなしに、
まずはこちらをご覧ください。

SEKISUI

積水化学工業株式会社

住宅カンパニー

〒105-8566 東京都港区虎ノ門2-10-4(オークラプレステージタワー)

<http://www.sekisuiheim.com>

本カタログ掲載の商品・部品・部材の色柄や色調などは、印刷のため実物とは多少異なる場合があります。
また改良を目的として、予告なく仕様などを変更する場合がありますので、ご了承ください。

Build a Good life

太陽とクルマからはじまる、新しいまいにち。

化石燃料の枯渇やエネルギーコストの高騰など、
さまざまなエネルギー問題が浮上している現代。
家とクルマはこの問題に応えるために、
日々進化をつづけてきました。
その2つが連携することで、
「人や地球、未来にまで続くやさしい暮らし」を実現させた VtoHeim。
太陽エネルギーを使って、昼も夜もできるだけ
クリーンエネルギーだけで暮らす新しいまいにち。
これがセキスイハイムの目指す、未来の答えです。

さあ、VtoHeim の新しい暮らしがはじまります。

もくじ

🔌 はじめに	3
VtoHeimってなに？	
📱 機器について	5
名前と使い方を知ろう。	
⚙️ 初期設定について	13
使用前の準備をしよう。	
🔧 その他の機能	21
充電時間の変更や停電時の使い方は？	
❓ Q & A	25
よくあるご質問にお答えいたします。	

VtoHeimシステムの全体像

EVとソーラー住宅を連携し、さまざまなメリットを生み出すVtoHeim。環境にやさしく、経済的で、停電時も安心の暮らし。さあ、はじめましょう。

太陽光発電システム

スマートハイムナビ (HEMS)

家じゅうの電力を見える化、効果的な使用法をアドバイスします。



室内用リモコン

EVの充電や放電(給電)の設定や運転はこちらから。



EV用パワーコンディショナ

太陽光発電の電力、電力会社の電力、EVの電力の3電力を最適にコントロール。

電気自動車

Merit.1: 環境性 自宅で作ったエネルギーでドライブ!

ソーラーで発電した電力は、家電だけでなくクルマともシェア。地球環境にやさしい低CO₂の暮らしを実現します。



Merit.2: 経済性 ガソリン代も、光熱費もまとめてお得!

自宅で作ったクリーンエネルギーと割安な深夜電力を使って、光熱費もクルマの燃料費もまとめてお得になります。



Merit.3: 停電時の安心 数日間にわたる停電でも生活を維持!

もしもの停電時でも、昼はソーラー電力で、夜はクルマに貯めた電力で生活。数日間にわたって家族の健康と快適な生活を守ります。*

*クルマに電力が貯まっている場合、昼に太陽光発電にて車に充電できる場合に、その電力を使用できます。

*クルマ(EV)の放電可能な容量(放電下限値)以下ではEVからの放電が出来ません。



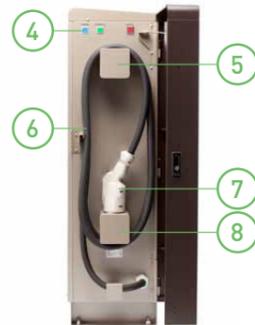
EV用パワーコンディショナについて知ろう 名称編

本体

太陽光発電や電力会社からの電力を、EV蓄電池に貯めたり取り出したりして、コントロールします。



(正面)



(右側面/ケーブルカバーオープン)

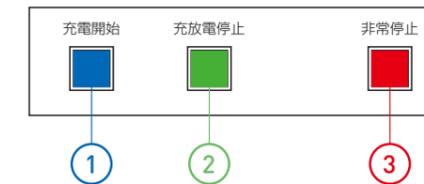
- | | | | |
|---|--|--|--|
| ① 表示部
EV用パワーコンディショナの状態を表示します。 | ③ ハンドル
扉を開閉するときのハンドルです。施錠できます。 | ⑤ ケーブルフック
車両と接続しない時にケーブルを掛けます。 | ⑦ コネクタ
車両の急速充電口に接続します。 |
| ② 鍵付ケーブルカバー
収納時のケーブルを保護するカバーです。 | ④ 操作部
EV用パワーコンディショナ本体で操作するボタンです。 | ⑥ 充電ケーブル
EV用パワーコンディショナと車両を接続します。 | ⑧ コネクタ収納ボックス
車両と接続しない時にコネクタを収納します。 |

表示部



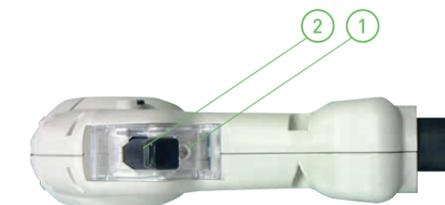
ランプの種類	ランプの色	本製品の状態
① オート設定中	緑 ●	通常運転(自動運転)を設定した場合に点灯します。
② 待機	緑 ●	充電、放電(給電)動作の準備中に点灯します。
③ 充放電中	緑 ●	充電動作時、放電(給電)動作時に点灯します。
④ コネクタ取外し禁止	橙 ●	充電中、放電(給電)中など安全上コネクタの取外し操作を禁止する場合に点灯します。
⑤ コネクタ未接続	橙 ●	車両にコネクタが接続されていない場合に点灯します。
⑥ 故障	赤 ●	故障が発生したときに点灯します。

操作部



各名称	本製品の状態
① 充電開始ボタン	車両への充電を開始します。[通常運転(自動運転)を設定している場合は無効となります。]
② 充放電停止ボタン	車両への充電や、車両からの放電(給電)を停止します。 コネクタを取外す前には、「充放電停止ボタン」を必ず押してください。 通常運転(自動運転)中は、ボタンを押すと一時停止します。コネクタを抜き差しするか、リモコン操作をすると、一時停止を解除し、通常運転(自動運転)が再開します。 ※割り込み運転はコネクタの抜き差しにより再開されません。 ※コネクタの抜き差しによる通常運転の一時停止解除機能は、ご使用の車種により使用できない場合がございます。
③ 非常停止ボタン	充電や放電(給電)を停止します。* 通常は、充放電停止ボタンで停止してください。 ※誤って非常停止ボタンを押してしまった場合は、②充放電停止ボタンを長押し(約5秒間)して解除できます。リモコンの操作では解除できません。

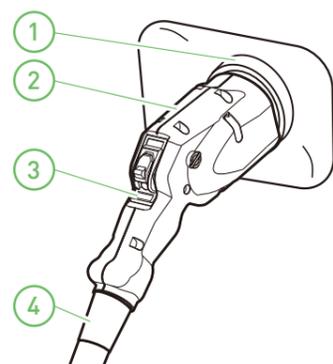
コネクタ



各名称	本製品の状態
① 表示窓	青色表示時: コネクタの解除レバーがロックされ、コネクタをEVから取り外すことはできません。充電中や放電(給電)中であることを示します。 白色表示時: コネクタの解除レバーが操作可能状態で、コネクタをEVから取り外すことができます。
② 解除レバー	充放電が停止し、コネクタを取外すときに押します。

EV用パワーコンディショナについて知ろう **使い方編****車両とコネクタの接続**

コネクタを落としたり、ケーブルを無理に引っ張ったりしないよう注意してください。



- ① 急速充電口
- ② コネクタ
- ③ 表示窓
- ④ 充電ケーブル

STEP 01 車両がパーキング状態で、スピードメーターが消灯していることを確認する。

STEP 02 車両の充電口を開き、急速充電口が見える状態にする。

STEP 03 EV用パワーコンディショナ側面のコネクタ収納ボックスからコネクタを抜く。ケーブルをケーブルフックから丁寧に取外し、車両の急速充電口までコネクタを移動させる。

STEP 04 コネクタの表示窓を上にした状態で、車両の急速充電口に「カチッ」とロックするまでしっかりと差し込む。

充電方法

STEP 01 充電するときには、充電ケーブルのコネクタを取り出して

STEP 02 クルマの急速充電口に、カチッと音がするまで差し込み、充電開始ボタンを押す。



※日産LEAFの場合

スピーディな倍速充電

200Vの普通充電に比べて、約2倍の速度で充電。24kWhのEV蓄電池の場合、約4時間で充電を完了します。

※車種(搭載蓄電池)によって充電時間は異なります。

●雨の日など濡れた手で扱わないようご注意ください

コネクタの取り外しと収納

はずしたコネクタは、地面に放置せず必ずEV用パワーコンディショナに収納してください。

STEP 01 本体の「充放電停止ボタン」を押す。

STEP 02 コネクタの表示窓が白色表示になっていることを確認する。解除レバーを押しながらコネクタを急速充電口から引き抜く。



STEP 03 コネクタを持ちながら、充電ケーブルをEV用パワーコンディショナのケーブルフックとコネクタ収納ボックスに巻き、コネクタをコネクタ収納ボックスに収める。

EV(電気自動車)の使用とEV用パワーコンディショナ操作の関係

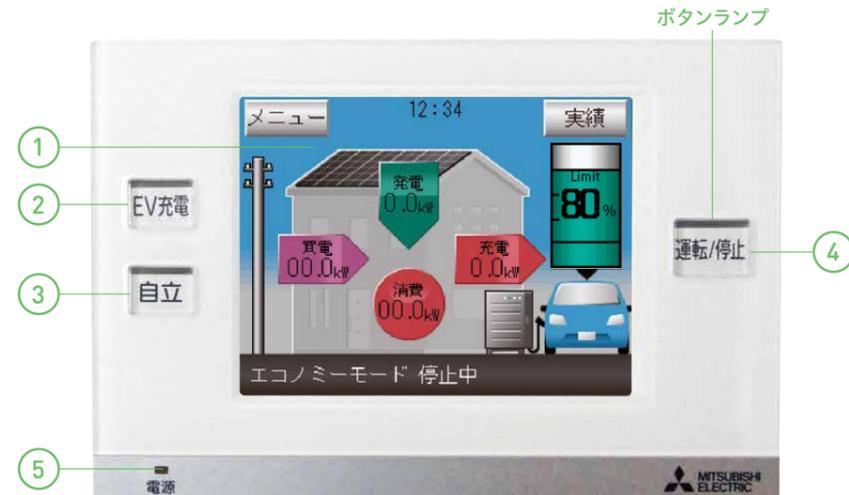
●EV蓄電池に貯めた電力を有効に活用するため、EVが家にあるときは必ず接続してください。

リモコンについて知ろう

名称編

リモコン本体

EV用パワーコンディショナでの充電/放電(給電)の各種設定や運転を操作します。



各名称	本製品の状態
① 操作画面(タッチパネル)	現在の状態の表示や各種設定、運転モードの切替を画面タッチで行います。 無操作状態で約5分経過すると液晶画面とバックライトが消灯。 消灯時に画面をタッチすると液晶画面とバックライトが再点灯します。
② EV充電ボタン	普段のスケジュールとは別に、ただちにEVの充電を開始したい場合に押します。 運転開始操作はホーム画面表示時のみ有効です。 ボタンランプは、割り込み運転でのEV充電時のみ点灯します。 (P21参照)
③ 自立ボタン	停電が発生した場合など、自立運転を開始したい場合に押します。 (停電していない場合は自立運転を開始できません) 運転開始操作はホーム画面表示時のみ有効です。 ボタンランプは、自立運転時のみ点灯します。 (P23参照)
④ 運転/停止ボタン	各運転モードを運転または停止します。 停止時に「運転/停止」ボタンを押すと前の運転モードを再開します。 運転中に「運転/停止」ボタンを押すと停止します。 運転開始操作はホーム画面表示時のみ有効です。 ボタンランプは、運転時:点灯、停止時:消灯します。 通常運転(自動運転)設定時はタイマーによる運転自動停止時を含めて、点灯します。
⑤ 電源ランプ	EV用パワーコンディショナから電源が供給されると点灯します。通常は常時点灯します。 ※EV不在時にも点灯します。(停電時に長時間EVが不在になると消灯します。)

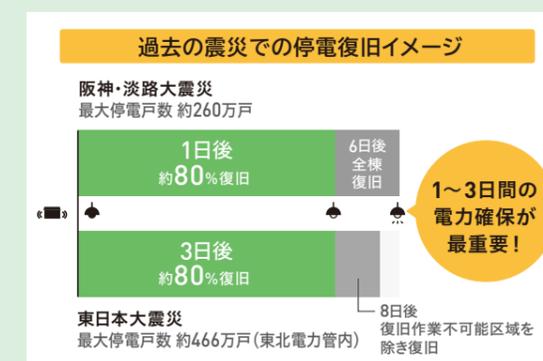
※停電発生により自立運転設定が可能な場合、および非常停止中には全てのボタンランプが点滅します。



COLUMN

地震大国日本でますます求められる非常用電源

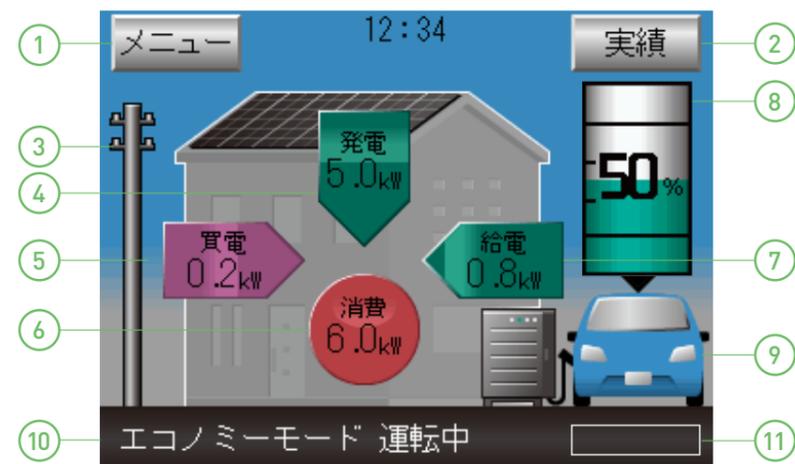
過去の大震災を振り返ると、停電の大半は1～3日間で復旧しています。数日間にわたる停電をも耐えしのげる非常用電源の確保が今、日本じゅうで求められています。



(※東京電力管内では7日後にすべての停電を解消)

リモコンについて知ろう 操作画面編

操作画面



※買電/売電電力表示、住宅内消費電力表示、PV発電電力表示、EV給電/充電電力表示は、各電力値が「0.0kW」の場合は、電力表示及び矢印アニメーションは表示されません。※“EV接続状態”が検出できない時は白抜き車画像になります。※EV電池残量表示はEVから値を取得できない場合は、「-」で表示します。

各名称	表示 [例]	本製品の状態
① メニューボタン		・ボタンをタッチするとメニュー画面を表示します。
② 実績ボタン		・ボタンをタッチすると各種積算電力量の状況を表示します。
③ 系統状態 (電力会社の電力供給状況)	 (停電時の場合)	・系統状態に応じて電柱画像を切り替えます。 ・正常時は通常電柱画像、停電時は×付電柱画像を表示します。
④ 太陽光発電電力表示	表示例 本日の 積算発電電力量 15.9kWh	・太陽光の発電電力を表示します。 ・表示箇所を押すと吹き出しで「本日の積算発電電力量」を表示します。 ※太陽光発電のパワーコンディショナ2台分までの発電量が表示されます。 3台設置の場合などは、スマートハイムナビに合計値が表示されるのでそちらをご覧ください。
⑤ 買電/売電電力表示	表示例 本日の電力量収支 (買電) 15.9kWh	・系統からの買電・売電電力を表示します。 (買電は右矢印、売電は左矢印) ・表示箇所をタッチすると吹き出しで「本日の電力量収支(買電または売電)」を表示します。

各名称	表示 [例]	本製品の状態
⑥ 住宅内消費電力表示	表示例 本日の 積算消費電力量 15.9kWh	・住宅内の消費電力を表示します。 ・表示箇所をタッチすると吹き出しで「本日の積算消費電力量」を表示します。
⑦ EV給電/ 充電電力表示	表示例 本日の電力量収支 (給電) 15.9kWh	・EVの給電(放電)、充電電力を表示します。 (給電(放電)は左矢印、充電は右矢印) ・表示箇所をタッチすると吹き出しで「本日の電力量収支(給電または充電)」を表示します。
⑧ EV電池残量表示	表示例 充電上限値 100% 放電下限値 0%	・EVの電池残量を数値(0~100%)と電池残量アニメーションで表示します。 EVから値を取得できない場合は、「-」で表示します。 ・コネクタを抜き差しした場合は、再度EVから給電もしくは充電を行うことで、EVの電池残量を取得します。 ・“充電上限設定”、“放電下限設定”に応じて、上限領域を表示します。また、電池表示箇所を押すと吹き出しで“充電上限設定値”、“放電下限設定値”(0~100%)を表示します。 ※EV自体に充電上限値、放電下限値がある場合は、その設定が優先されます。
⑨ EV状態	 (検出できない場合)	・“EV接続状態”、“放電未対応”に応じてEV車画像を切り替えます。 ・“EV接続状態”が検出できない場合は白抜き車画像、検出できた場合は青色画像、“放電未対応”のEVが検出された場合は車画像上部に「充電のみ」と表示されます。
⑩ システム状態表示		・運転状態、系統状態など、システムの状態を表示します。 ・運転モードを切り替えると、選択した運転モードで「○○運転中」と文字が点滅表示し、運転準備状態になります。しばらくすると「○○運転中」の文字が通常表示となり、選択した運転状態になります。 ・文字が点滅表示している時に文字箇所をタッチすると、システムコードなどの運転状態を表示することができます。
⑪ 特殊操作ボタン		・ショートカット機能として、前回運転していた通常運転(自動運転)の設定に応じて、「エコノミー」/「グリーン」/「EV予約充電」ボタンのいずれかを表示します。割り込み運転後、通常運転に戻りたい場合などにタッチしてください。 ・通常運転中にEV用パワーコンディショナ本体側で充放電停止ボタンを押すと、通常運転は一時停止になり、「一時停止解除」ボタンが表示されます。リモコン側から通常運転を継続したい場合にタッチしてください。

※表示される数値は目安であり、電力量計の値や電力会社からの請求書他、各種数値と異なる場合があります。

使用前の準備をしよう

時刻設定/契約内容入力/ブザー音量/LAN接続設定

設定は運転停止(運転/停止ボタンランプ消灯)状態で行ってください。

初期設定(共通)

STEP 01



「メニュー」ボタンをタッチします。

※買電/売電電力表示、住宅内消費電力表示、PV発電電力表示、EV給電/充電電力表示は、各電力値が「0.0kW」の場合は、電力表示及び矢印アニメーションは表示されません。
 ※「EV接続状態」が検出できない時は白抜き車画像になります。
 ※EV電池残量表示はEVから値を取得できない場合は、「—」で表示します。

STEP 02



「>」をタッチします。

STEP 03



「初期設定」ボタンをタッチします。

時刻設定

STEP 04



「時刻設定」ボタンをタッチし、「▼」「▲」ボタンで日時を設定して「完了」ボタンをタッチします。
 「完了」ボタンをタッチすると00秒からスタートします。

※変更が無い場合は「完了」ボタンをタッチできないので、「戻る」ボタンをタッチしてください。

契約内容入力

STEP 05



「契約内容入力」ボタンをタッチし、「▼」「▲」ボタンで「夜間(深夜)電力時間帯」および「契約容量」を設定して「完了」ボタンをタッチします。

契約容量は、30A(3kVA)、40A(4kVA)、50A(5kVA)、60A(6kVA)、30A(6kVA)、40A(8kVA)、50A(10kVA)から選択できます。

※本設定は、ブレーカーが落ちることを防止するためのものであり、電力会社との契約容量に応じた正しい値を設定してください。契約容量の設定は、高めに設定することはできますが、契約ブレーカーが落ちる場合がありますのでご注意ください。また、低めに設定することは可能ですが、EV充電完了時間が長くなる場合がありますので、ご注意ください。なお、契約容量が10kVAを超える場合は50A(10kVA)を選択してください。

〈工場出荷時〉「夜間電力時間帯」23:00~07:00、「契約容量」60A(6kVA)

電力会社との契約書類をご用意ください。

契約書類

.....

.....

.....

ブザー音量/LAN接続設定

STEP 06



「その他」ボタンをタッチし、「ブザー音量*」をお好みの音量に。「LAN接続」を「有効」に設定すると、確認画面が出るので「はい」をタッチします。

※停電発生時や復電時、「自立運転」(P23)の切り替え操作を行うときお知らせするブザー警告音です。

LAN接続は、「有効」に設定してください。

〈工場出荷時〉「ブザー音」切、「LAN接続」無効



※確認画面の@部分には選択した内容が表示されます。

車両選択設定

EV用パワーコンディショナの車両選択の確認、変更を実施します。

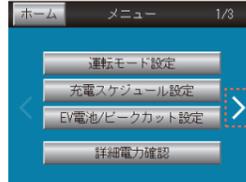
車両選択

STEP 07



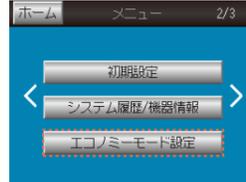
ホーム画面の左上にある「メニュー」ボタンを押す。

STEP 08



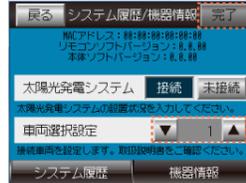
「>」を押す。

STEP 09



「システム履歴/機器情報」ボタンを押す。

STEP 10



「車両選択設定」の設定値がご使用の車種に合わせて設定されていることを確認する。合っていれば「戻る」ボタンを押す。
 変更する場合は「▼」「▲」ボタンで設定値を変更して「完了」ボタンを押す。

車両選択	車種	メーカー	設定値
タイプA(初期設定)	リーフ、e-NV200	日産自動車株式会社	1
※タイプBの車種と併用する場合はタイプBに設定してください。			
タイプB(※1)	i-MiEV、MINICAB-MiEV VAN、MINICAB-MiEV TRUCK、アウトランダー-PHEV	三菱自動車工業株式会社	2
	プリウスPHV(V2H対応)	トヨタ自動車株式会社	

「リーフ」「e-NV200」は日産自動車株式会社の登録商標です。
 「MiEV(ミープ)」「アウトランダー」は三菱自動車工業株式会社の登録商標です。
 (※1) タイプBに設定された場合、機能が一部制限されます。

制限概要
 ・EVが未接続時でもリモコン画面が接続状態になります。
 ・EV帰宅時等で再度EV接続する際は、リモコン画面右下に表示の「一時解除」ボタンを押してください。詳細は、取扱説明書をご確認ください。
 設定を変更する場合はEV用パワーコンディショナが停止中に実施してください。

*最新の対象車種の設定値は三菱電機株式会社ホームページ
<http://www.mitsubishielectric.co.jp/home/smartv2h/support/vehicle-selection-setting.html>
 をご確認ください。

STEP 11



以上で車両選択設定は終了です。
 「ホーム」ボタンを押してホーム画面に戻ってください。

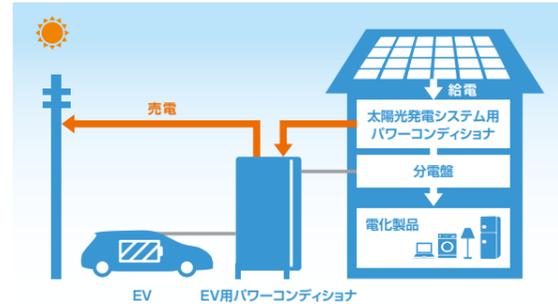
2つの運転モードを知ろう

まず、「経済性」または「環境性」のどちらを優先するかを決めます。

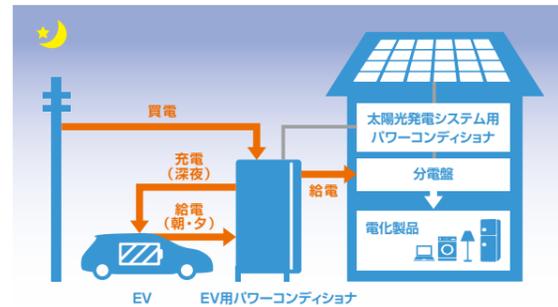
経済性を優先 (売電金額最大運転)

電力会社から電力をできるだけ安く買ってEV蓄電池を充電し、ソーラーの余剰電力は売電することで、経済メリットを高めます。

ソーラーの余剰電力は売電



安い深夜電力で充電



●充電スケジュール設定

夜間電力利用

夜間(深夜)電力時間に充電し、それ以外の時間は給電または停止します。

●運転モード

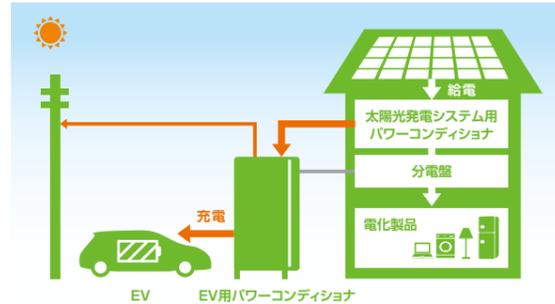
エコノミーモード

太陽光発電の余剰電力を売電して、経済性を高めるモードです。

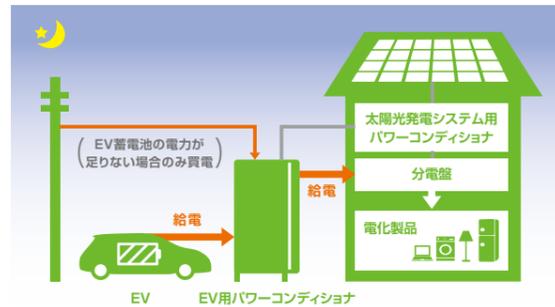
環境性を優先 (買電量最少運転)

ソーラーの余剰電力でEV蓄電池を充電し、クリーンエネルギーの活用でEVの環境性を一層高めます。

ソーラーの余剰電力で充電



買電量はできるだけ少なく



●充電スケジュール設定

ユーザー設定

電力会社から電力を買ってEVに充電したい時間帯を「充電時間」に設定してください。

●運転モード

グリーンモード

太陽光発電の余剰電力でEV蓄電池を充電し、EVの環境性を高めるモードです。

※ EV(電気自動車)が日中、家不在の場合は余剰分は売電されます。

●経済性を優先する場合の生活パターン 夜間電力利用×エコノミーモード

A 週末のみ車を使用。平日の日中は不在 夜間電力外充電※ 無効
夜間電力で充電し、朝、夜はEV蓄電池から給電。ソーラーの余剰電力は売電するため経済メリットが大きい。



B 平日の朝夕、車を使用。日中、家族は在宅 夜間電力外充電※ 無効
夜間電力で充電し、日中はソーラー、夜はEV電池から給電。日中は車を使うので、ソーラーの余剰電力は売電する。



C 平日は通勤で車を使用。日中、家族は在宅 夜間電力外充電※ 有効
EV電池は、深夜から出勤前まで充電するスケジュールに設定。日中は車がないため、ソーラーの余剰電力は売電。



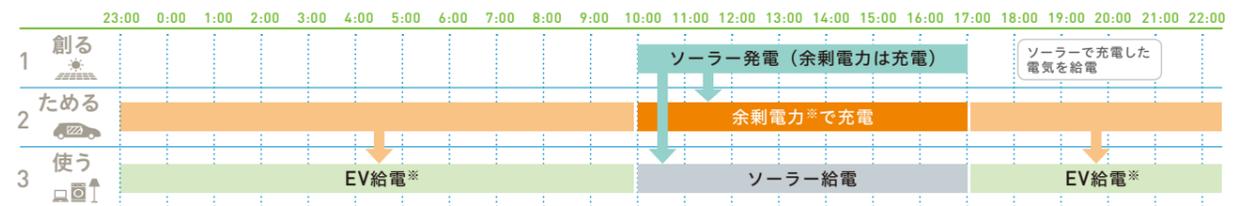
※「夜間電力外充電」とは

夜間電力時間内に充電が完了しないときにも充電を継続したい場合は、「夜間電力外充電」を「有効」に設定します。

設定はP17~18へ

●環境性を優先する場合の生活パターン ユーザー設定×グリーンモード

D ソーラー発電を、自宅でフル活用したい場合
EV蓄電池は、ソーラーの余剰電力で充電。足りない分は買電で充電し、夜は給電するスケジュールに設定。



※足りない場合は買電

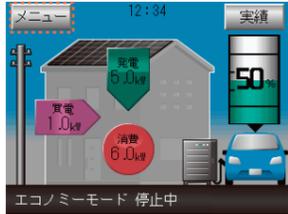
設定はP19~20へ

エコノミーモードに設定するには

Ⓜ 経済性を優先した使い方(夜間電力利用/エコノミーモード)

夜間電力利用に設定

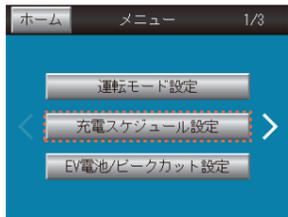
STEP 01



A B C 共通 (P.16 生活パターン)

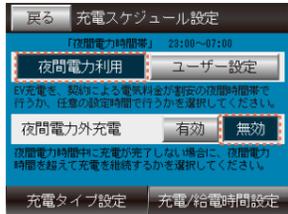
「メニュー」ボタンをタッチします。

STEP 02



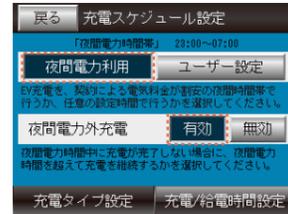
「充電スケジュール設定」ボタンをタッチします。

STEP 03



A B の場合

「夜間電力利用」および「夜間電力外充電」[無効]ボタンをタッチします。

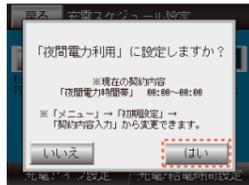


C の場合

「夜間電力利用」および「夜間電力外充電」[有効]ボタンをタッチします。

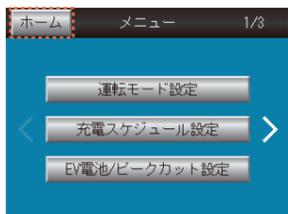
A B C 共通

確認画面が出るので、「はい」をタッチして確定します。



(工場出荷時)
「充電タイプ設定」→夜間電力利用
「夜間電力外充電」→無効
※変更がない場合は「戻る」

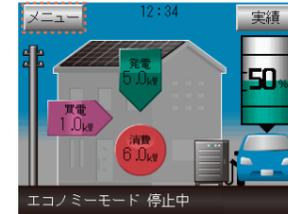
STEP 04



「ホーム」ボタンをタッチして、ホーム画面に戻ります。

エコノミーモードに設定

STEP 01



A B C 共通

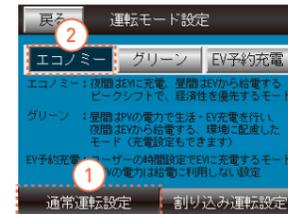
「メニュー」ボタンをタッチします。

STEP 02



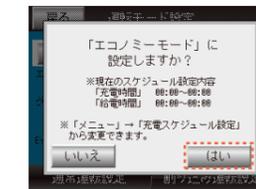
「運転モード設定」ボタンをタッチします。

STEP 03



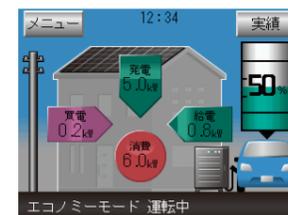
※すでに運転モードが設定されている場合、その運転モードボタンは押せません。

「通常運転設定」ボタンをタッチし、「エコノミー」ボタンをタッチします。確認画面が出るので、充電時間/給電時間を確認後、「はい」をタッチして確定します。



※充電時間/給電時間を変更する場合は、一旦「いいえ」を押して、「メニュー」→「充電スケジュール設定」から変更後、再度「エコノミー」モードを設定してください。

STEP 04



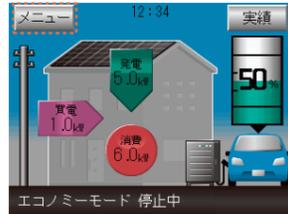
ホーム画面に戻って、画面左下が「エコノミーモード 運転中」と表示されていることを確認してください。(文字が点滅している間はまだ過渡状態で、運転変更が完了していません。)

設定完了です

グリーンモードに設定するには

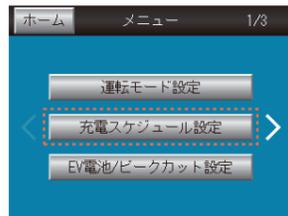
環境性を優先した使い方(ユーザー設定/グリーンモード)

ユーザー設定に設定

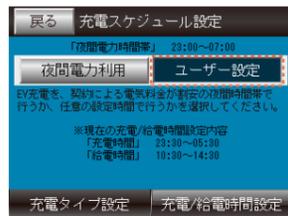
STEP
01

D の場合

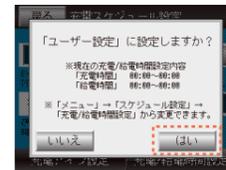
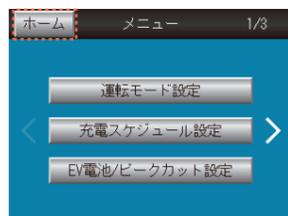
「メニュー」ボタンをタッチします。

STEP
02

「充電スケジュール設定」ボタンをタッチします。

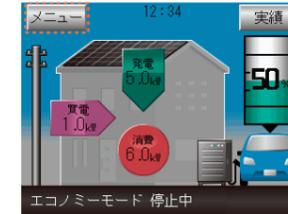
STEP
03

「ユーザー設定」ボタンをタッチします。

〈工場出荷時〉「充電タイプ設定」→夜間電力利用
「夜間電力外充電」→無効※変更がない場合は「完了」ボタンをタッチ
できないので「戻る」ボタンをタッチして
ください。確認画面が出るので、
「はい」をタッチして確定します。STEP
04「充電/給電時間設定」ボタンをタッチし、充電時間と給電時間を設定します。
電力会社から電力を買ってEVに充電したい時間帯を充電時間に設定してください。
「▼」「▲」ボタンで時間を設定し、「完了」ボタンをタッチします。※「充電時間」と「給電時間」は、重複して設定することはできません。
※「充電時間」「給電時間」以外は、停止となります。STEP
05

「ホーム」ボタンをタッチして、ホーム画面に戻ります。

グリーンモードに設定

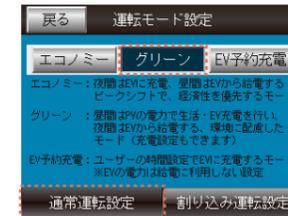
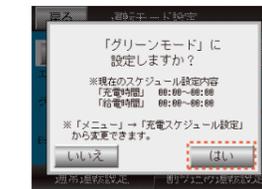
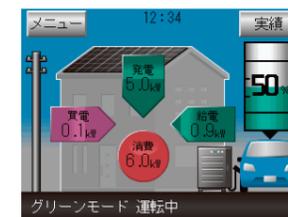
STEP
01

D の場合

「メニュー」ボタンをタッチします。

STEP
02

「運転モード設定」ボタンをタッチします。

STEP
03「通常運転設定」ボタンをタッチし、「グリーン」ボタンをタッチします。
確認画面が出るので、充電時間/給電時間を確認後、「はい」をタッチして確定します。※すでに運転モードが設定されている
場合、その運転モードボタンは
押せません。※充電時間/給電時間を変更する場合は、
一旦「いいえ」を押して、「メニュー」→
「充電スケジュール設定」から変更後、
再度「グリーン」モードを設定してください。STEP
04ホーム画面に戻って、画面左下が「グリーンモード 運転中」と表示されていることを確認してください。
(文字が点滅している間はまだ過渡状態で、運転変更が完了していません。)

設定完了です

割り込み運転

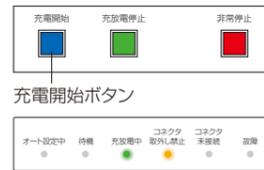
EV充電運転

今すぐ車を充電したい…というときは

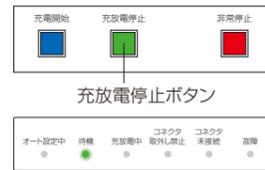
ただちにEV充電を開始したいときは、EV用パワーコンディショナ本体および、リモコンで操作できます。

EV用パワーコンディショナで操作する場合

充電を開始



充電を停止



STEP 01 リモコンで自動運転を解除する。

STEP 02 操作部の「充電開始」ボタンを押す。

STEP 03 表示部の「充放電中」と「コネクタ取り外し禁止ランプ」が点灯し、充電開始。

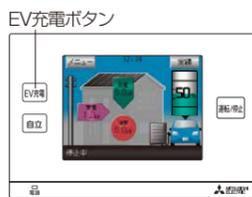
STEP 01 操作部の「充放電停止」ボタンを押す。

STEP 02 表示部の「充放電中」と「コネクタ取り外し禁止ランプ」が消灯、「待機」ランプが点灯し、充電停止。

リモコンで操作する場合

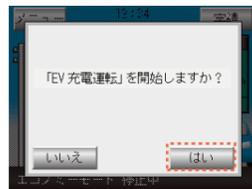
充電を開始

STEP 01



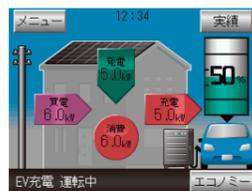
リモコンの「EV充電」ボタンを押す。

STEP 02



「EV充電運転を開始しますか？」というポップアップ画面が出たら、「はい」をタッチする。

STEP 03



画面左下が「EV充電 運転中」と表示されることを確認する。

充電を停止



画面右下の「特殊操作」ボタンをタッチすると通常運転に戻ります。
※写真の場合は「エコノミー」を表示。

充電完了後、給電を行わない場合



リモコンの「運転/停止」ボタンを押し、指示にしたがって設定。

使用後は、通常の充電スケジュール/運転モードに再度、設定し直してください。(P17~20)

EV予約充電モード

翌日の早朝から車を使いたい…というときは

お客様の設定した時間にEVに充電するモードです。EVの電力は給電には使用されません。

EV予約充電モード設定

先に、P19の「ユーザー設定」の方法で、充電したい時間を設定しておきます。

STEP 01



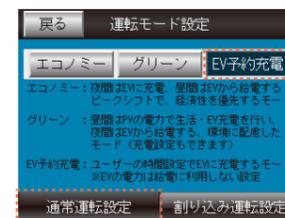
「メニュー」ボタンをタッチする。

STEP 02

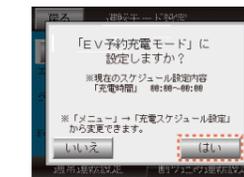


「運転モード設定」ボタンをタッチする。

STEP 03



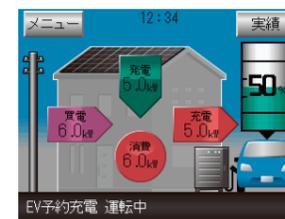
「通常運転設定」ボタンをタッチし、「EV予約充電」ボタンをタッチする。



確認画面が出るので、「はい」を押して設定する。

※すでに運転モードが設定されている場合、その運転モードボタンは押せません。

STEP 04



ホーム画面に戻って、画面左下が「EV予約充電 運転中」と表示されていることを確認してください。(文字が点滅している間はまだ過渡状態で、運転変更が完了していません。)

使用後は、通常の充電スケジュール/運転モードに再度、設定し直してください。(P17~20)

その他の機能については、EV用パワーコンディショナの取扱説明書をご覧ください。

自立運転

停電が発生した場合、自立運転に切り替えることで、EV蓄電池から住宅内に電力を給電することができます。

●停電が発生したら コネクタが、車両に接続されていることをご確認ください。

自立運転を開始

STEP 01



リモコン画面に『「自立運転」を開始しますか?』というポップアップ画面が表示。ボタンランプ3か所が点滅します。リモコン本体の「自立」ボタン、または画面右下の「OK」ボタンを押してください。

※無操作状態で約5分経過すると、画面消灯します。画面をタッチして再点灯させてください。

STEP 02

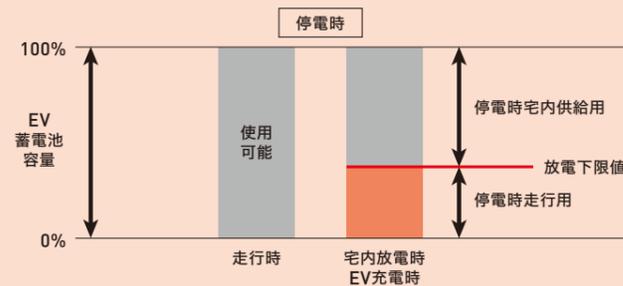


ポップ画面が消え、しばらく(約10秒)すると、EV用パワーコンディショナが起動し、住宅内に電力が供給されます。

※宅内の照明が点灯することで、自立運転していることが確認できます。※停電時はリモコン画面の電柱に、停電を示す×印のアイコンが表示されます。また、リモコンには給電のアイコンが表示されます。※画面左下が「停電: 自立 運転中」と表示されていることを確認してください。

自立運転を行う際のご注意

- ・停電が発生してから自立運転に切り替えるまでは、EV用パワーコンディショナに内蔵しているバックアップ用電池によって制御回路が動作しています。停電継続中にEV外出等で長時間(約48時間)自立運転への切り替え操作が行われないと、内蔵バッテリーが減り、自立運転が行えなくなることがありますが、その場合も復電すれば元に戻ります。
- ・昼間、太陽光システムが発電している間に自立運転を行うと、白熱電球がちらつく事がありますが故障ではありません。
- ・停電時において、EV蓄電池容量が自動車メーカーが設定している放電下限値*を下回る場合、宅内に電気を供給すること(放電)やEVに充電することができなくなります。



*放電下限値は車種により異なります。詳細は下記三菱電機(株)ホームページをご確認ください。
<http://www.mitsubishielectric.co.jp/home/smartv2h/product/list.html>

●復電したら(停電が終了したら)

自立運転を停止(停電前の運転状態への切替え操作)

STEP 01



停電終了のポップアップ画面がリモコンに表示。ランプ3か所が点滅します。

※無操作状態で約5分経過すると、画面消灯します。画面をタッチして再点灯させてください。

STEP 02

「はい」ボタンをタッチする。ポップアップ画面が消えます。

自立運転を停止する際のご注意

- ・パソコンなどを使用しているときは、パソコンの電源を落としてからリモコン画面の「はい」をタッチしてください。ポップアップ画面で「はい」をタッチすると、停電前の状態にするためにEV用パワーコンディショナーの自立運転出力が停止し、住宅内への電力供給が約10秒停止します。

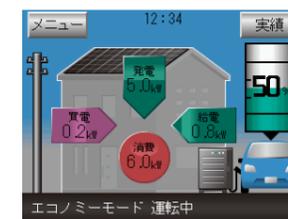
STEP 03



EV用パワーコンディショナが一旦停止し、住宅内の照明が消灯。約10秒後に電力会社の電力に接続され、住宅内の照明が点灯します。(系統接続)

※このときEV用パワーコンディショナは運転準備中で、「エコノミーモード 運転中」の文字は点滅しています。

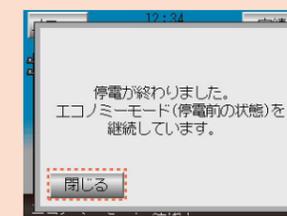
STEP 04



しばらくすると、EV用パワーコンディショナが運転を開始。停電前の運転モードに復帰します。

※復電後、系統連系接続の規定により、EVパワーコンディショナの運転は約5分程度待ってから再開されます。

自立運転に切り替えなかった場合



停電時に自立運転せずに運転停止中(停電)の状態、復電した場合は、左記のポップアップが表示されるので、「閉じる」ボタンをタッチしてください。

※画面は、停電前の状態がエコノミーモードの場合の表示例です。運転モード名は、停電前の運転状態が表示されます。

よくあるご質問にお答えいたします。

Q1 保証期間はどのくらい？メンテナンスは何が必要？

保証期間は10年間となります。EV用パワーコンディショナ(本体+リモコン)の保証期間は10年間。その間、本体内部にある停電時の起動に使用されるバックアップ用の電池交換は、初期費用の範囲で対応します。

Q2 日頃のお手入れはどのようにしたらよいですか？

本体が汚れた場合は、乾いた布などでふいてください。
雪が積もった場合は、吸気取り入れ口が埋まらないように除雪してください。

<定期的なお手入れ> 月に1回程度

- ・コネクタ収納ボックス内のゴミを取ってください。
- ・ケーブル収納用扉の内側に貯まったゴミ、埃を取ってください。
- ・吸気口の周りの設置面を掃除してください(年に1回程度)。
- ・底面の吸気口にほうきなどを入れてゴミをはらってください。

<リモコン>

リモコンの表面の汚れは、水またはぬるま湯に浸した布をかたくしぼってふき取り、拭いた後は水またはぬるま湯が残らないように乾いた布でよくふき取ってください。

<掃除でご使用になれない溶剤の例>

シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレーアルカリ洗剤、中性洗剤、研磨剤、その他

Q3 EV用パワーコンディショナが故障した場合、どうなりますか？

EV用パワーコンディショナが故障した場合でも、切替開閉器を切替えることで電力会社の電力、PVの発電電力の住宅への給電は可能です。また、防水接地コンセントを使用し電力会社の電力でEVへの充電も可能です。停電時は、非常用コンセントを使用することで、PVの発電電力を住宅の特定負荷へ給電することが可能です。

Q4 雨や雪の日に充電することは可能ですか？

可能です。ただし、雨や雪が降っているときは感電を防止するため、充電コネクタを濡れた手で触らないようにして充電してください。万が一充電コネクタが濡れてしまったときは、布で水分を拭き取るなど、取扱いには十分ご注意ください。大雨や強風の日、落雷の可能性がある日などは、充電を行わないでください。また、雪の日は、吸気取り入れ口が埋まらないようにEV用パワーコンディショナの周囲の雪を取り除いてください。ただし、EV用パワーコンディショナは基礎の高さが30cm程度あるため、それ以下でしたら水たまりなどができて問題ありません。電気自動車の取扱説明書や、メーカーホームページなどもご確認ください。

Q5 急に出かけることになったときなどに、充電を途中でやめてケーブルを抜いても大丈夫？

途中で充電をやめてケーブルを抜くことは可能です。EV用パワーコンディショナの「充放電停止」ボタンを押して充放電を停止し、コネクタの表示窓が青色から白色になったことを確認してから取り外してください。急な外出に備え、EVの電池を常に少しでも残しておきたい(使い切らない)場合は、電気自動車の残量設定機能をご使用ください。



V to Heim

Q6 EVの蓄電池に電力を残しながら、家庭への給電は可能ですか？

可能です。VtoHeimは、EV搭載蓄電池の残量率を設定することができます。(初期設定のほかに、下限値まで設定できます。)

Q7 自立運転時にEVの電力を使う場合に、注意する機器はありますか？

総容量6kVA、片相容量5kVAを超える消費電力の大きい機器、運転開始時に大きな電流が流れる機器(例:井戸水ポンプ)、独立した電源となる機器(例:発電機)を使用すると、VtoHeimが停止する場合があります。また、電力線を通信回線として利用する機器(例:PLCネットワークアダプター)の場合、正常に通信ができなくなることがあります。また、人命に直接かわかる人工呼吸器、酸素濃縮装置などの医療機器や家庭用エレベーターには接続しないでください。

Q8 VtoHeimの充電機能を使用している間に、電力の使いすぎによってブレーカーが落ちる可能性はありますか？

契約電力に応じて充電量を制限するなど、充電によりブレーカーが落ちないように充電電流を抑制しますが、充電を停止してもなお、ご家庭の電力使用量がブレーカーの電力容量を超える場合は、ブレーカーが落ちる可能性があります。また、使用している家電製品の消費電力の合計がVtoHeimの給電能力を超えた場合は、EVから供給された電力と電力会社から供給される電力の使用が可能ですので、電力会社からの購入電力が追加されます。

Q9 EV用パワーコンディショナは限定された車のみ使用可能ですか？

EV用パワーコンディショナの充電機能はCHAdeMO規格*に対応したV2H対応の電気自動車にお使いいただけます。(車体を限定しません。)

*CHAdeMO(チャデモ)規格:世界に4つある充電規格のうちの一つです。日本国内で本格的に運用されているのはCHAdeMO規格のみです。

【注意】プリウスPHVは充電装置において、オプションの充電インレット(普通充電+急速充電(外部給電機能[V2H])付)とする必要があります。後から車両に追加することは出来ませんのでご注意ください。詳しくはお近くの自動車販売店にご確認ください。

Q10 車を買換えた場合、どうなりますか？

購入予定の車が、EV用パワーコンディショナの対象車種であれば使用可能です。

*最新の対象車種は三菱電機(株)ホームページ <http://www.mitsubishielectric.co.jp/home/smartv2h/product/list.html> をご確認ください。

【注意】プリウスPHVは充電装置において、オプションの充電インレット(普通充電+急速充電(外部給電機能[V2H])付)とする必要があります。後から車両に追加することは出来ませんのでご注意ください。詳しくはお近くの自動車販売店にご確認ください。

※その他詳細に関しましては、三菱電機EV用パワーコンディショナの取扱説明書をご覧ください。